

絶滅寸前 シナイモツゴを守れ

ぼんすけ博士：シナイモツゴという魚を^{さかな}しているかな？里山^{さとやま}のため池^{いけ}でしかみることのできない絶滅^{ぜつめつ}危惧^{きぐ}種^{しゅ}だよ。コイの仲間^{なかま}だけど数^{すう}センチ^{ちい}の小さな魚^{さかな}だよ。

のぶさと君：どうして里山^{さとやま}のため池^{いけ}でしかみつかからないの？ため池^{いけ}って田んぼ^{たんぼ}や畑^{はたけ}のため^{ため}にあるんだよね。川^{かわ}じゃなくて山^{やま}にすむ魚^{さかな}って不思議^{ふしぎ}だなあ。

ぼんすけ博士：昔^{むかし}はね、シナイモツゴも大きな川^{おおかわ}（例えば千曲川^{ちくまがわ}）の近く^{ちか}（氾濫原^{はんらんげん}）にすんでいたんだ。でも大きな川^{おおかわ}の流^{なが}れる広^{ひろ}～い平野^{へいや}は、私^{わたし}たち人間^{にんげん}が安心^{あんしん}して暮^くらせる街^{まち}へと変わ^かってしまったんだ。街^{まち}では最近^{さいきん}人間^{にんげん}に持ち込ま^{もちこ}まれた外来^{がいらい}の生き物^{いきもの}も増^ふえているね。もともといた生き物^{いきもの}の住む場所^{すばしよ}はほとんど残^{のこ}っていないんだ。

のぶさと君：じゃあ、僕^{ぼく}たちの住^すんでいる街^{まち}にも、昔^{むかし}はもっといろんないろんな生き物^{いきもの}がすんでいたかもしれないの？

ぼんすけ博士：そういうことだよ。お家^{うち}のある場所^{ばしよ}が昔^{むかし}どんな場所^{ばしよ}だったのか想像^{そうぞう}してごらん。まったく違^{ちが}う景色^{けしき}が広^{ひろ}がっていたかもしれないね。

里山^{さとやま}にはシナイモツゴ以外^{いがい}にもたくさん^いの生き物^{もの}が生き残^いっているよ。でもね、残念^{ざんねん}なことに里山^{さとやま}が荒^あれ始^{はじ}めているんだ。シナイモツゴのすめるため池^{いけ}もずいぶん減^へってしまったよ。里山^{さとやま}では若い人^{わかひと}が減^へって田んぼ^{たんぼ}や畑^{はたけ}、そしてため池^{いけ}の手入れ^{てい}ができなくな^なってきているんだ。

のぶさと君：ど、ど、どうしよう～。

ぼんすけ博士、のぶさと君と一緒^{いっしょ}に、シナイモツゴを守^{まも}る方法^{ほうほう}を考^{かん}えてくれませんか？

※シナイモツゴの生息^{せいそく}する長野市^{ながの}信里地区^{しのぶさとちく}では、シナイモツゴのことを「ぼん」とよんで一緒^{いっしょ}に暮^くらしてきました。昨年^{さくねん}、ぼんすけ育成会^{いくせいかい}が立ち上^たがり、「ぼんすけを守^{まも}ることは農業^{のうぎょう}を守^{まも}り心地^{こち}よい信里^{しのぶさと}の自然^{しぜん}が続^{つづ}くこと」をモットーに活動^{かつどう}を開始^{かいし}しました。

※信州大学^{しんしゅうだい}理学部^{りがく}生物学^{ぶせいがく}コース高田研究室^{ねんまえ}では20年前^{にんまへ}からシナイモツゴの研究^{けんきゅう}に取り組^とんでいきます。